

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	川村ケン・永田範正・藤崎昌弘・大野元毅・田原歩・恒枝賢治・BAN・二村しおり			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
クライアントの多様なオーダーや音楽系企業からの求人に素早く的確に応えるためにストリングスアレンジやブラスアレンジができるようになるためのメソッド、各ジャンルや名アレンジャー特有の編曲技法、使用楽器の知識と奏法、楽譜制作スキルを体得する為の授業です。オーケストレーションの作成ほか、サウンドロゴや効果音、BGM作成、動画やWebページを使用した作品の公開方法やプロモーション方法などを総合的に学びます。											
到達目標											
様々な音楽ジャンル、国内外の名アレンジャーのサウンドスタイルについての知識を習得する。オーケストレーションに必要な基礎的な読譜力、記譜力、各使用楽器の音域や使用方法について学び、習得する。オーソドックスなクラシック理論のみならず、現代的コード理論との融合を目指す。作品や自身を表現するロゴ作成、Webページ作成など、プロモーションを行うためのスキルも体得する。											
授業方法											
講師指定の楽曲を参考音源と楽譜をもとに様々なジャンルやアレンジャーのサウンドスタイルを分析する。同時に、ゲーム音楽、J-POP双方のオリジナル作品を作曲し、オーケストレーションの手法を用い仕上げていく。各種弦楽器、管楽器、打楽器以外にも、現代におけるシンセサイザーなどの編入楽器など、各学生のオリジナリティある組み合わせにも柔軟に対応していくものとする。課題の定期的な試聴会とディスカッションも行う											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	各サウンドスタイルに共通する楽器の種類と奏法。/記譜法の基礎の理解。/サウンドロゴやBGM、効果音。										
第2回	音楽ジャンルの種類。/弦楽器の理解。/ループ素材を使用したBGM作成。										
第3回	楽譜作成の基礎。/金管楽器の理解。/ループ素材を使用したBGM作成。										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン1	
第4回	典型的なJ-Popスタイルを分析。/木管楽器の理解。
第5回	リードシートをもとに、J-Popスタイルの打ち込み。/打楽器の理解。
第6回	音色の種類。音色、入力データのブラッシュアップ/リズムと音階楽器を使用したサウンドロゴ。
第7回	フェーダーバランスとPAN設定によるミックス。ミックスダウンと音源提出。/編入楽器の理解。/リズムと音階楽器を使用したサウンドロゴ。
第8回	提出音源の授業内発表。典型的なロックスタイルの分析。/転回形を用いた和声の理解。/マイクを使用した音声収録。
第9回	リードシートをもとに、ロックスタイルの打ち込み。/音声を加えたサウンドロゴ。
第10回	音色、入力データのブラッシュアップ。/各楽器の得意とする調性の理解。/音声を加えたサウンドロゴ。
第11回	ダイナミクス系、空間系エフェクトの基礎。ミックスダウンと音源提出。/弦楽器の代表的奏法の理解。/Adobe Photoshopを活用。
第12回	学んだ内容をもとに、サウンドスタイルを決め、短いオリジナルインストゥルメンタルの制作。/Adobe Illustratorを活用。
第13回	オリジナルインストゥルメンタルの制作その2。/Adobe Premiere Proを活用。
第14回	オリジナルインストゥルメンタルの仕上げ、楽譜制作、提出。/Adobe Premiere Proを活用。
第15回	提出物の授業内発表、前期のまとめ。